

平成 29 年 7 月吉日

関係各位

実行委員長：國澤 洋介  
(埼玉医科大学保健医療学部)

日本理学療法士学会「がん理学療法部門」主催  
第 1 回がん理学療法カンファレンス

日 時：平成 29 年 10 月 29 日（日） 10:00～16:00（9:30 受付開始）  
場 所：大宮ソニックシティ 市民ホール（403,404）（さいたま市大宮区桜木町 1-7-5）  
テーマ：骨転移例に対する理学療法士の役割 ～病院から在宅まで～  
定 員：160 名  
参加費：日本理学療法士協会会員：¥2,000（事前登録）、¥3,000（当日登録）  
非会員・他職種：¥4,000、学生：¥500

プログラム：

- 講演：10:05-11:45（90 分）  
「骨軟部肉腫の患肢温存手術の発展史と骨転移の診断・治療について」  
川口 智義 先生（がん研有明病院 顧問）  
司会：高倉 保幸 先生（埼玉医科大学保健医療学部）
- シンポジウム：12:45-14:45（各発表 20 分×3 題＋討論 60 分）  
「骨転移例に対する理学療法士の役割」  
【急性期病院の立場から】  
高橋 雅人 先生（東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部）  
【在宅・外来の立場から】  
上野 順也 先生（国立がん研究センター東病院  
骨軟部腫瘍・リハビリテーション科）  
【緩和ケアが主体となる時期の立場から】  
大隈 統 先生（武蔵台病院 リハビリテーション科）  
司会：國澤 洋介 先生（埼玉医科大学保健医療学部）
- 一般演題：14:55-15:55（3-4 題、60 分）  
\* 骨転移例に対する理学療法に関連した演題を募集  
\* 演題登録はがん理学療法部門ホームページをご確認ください  
<http://jspt.japanpt.or.jp/jspto/>